



朝日学園連合PTA広報誌

朝日学園創立 30 周年・みつ朝日学園創立記念号

# Trinity

トリニティー

Vol.3  
2012 Spring



## CONTENTS

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1 — 学園歌    | 17 — 中等教育学校    |
| 3 — 創立記念式典 | 23 — 朝日学園行事一覧  |
| 4 — 永年表彰   | 25 — 数字で見る朝日学園 |
| 5 — 幼稚園    | 27 — 朝日学園教職員一覧 |
| 11 — 小学校   | 29 — 座談会       |



30th Anniversary



Founding Year Celebration



## 朝日学園歌 「朝日をあびて」

朝日学園連合PTA 作詞  
園田 幹子 作曲  
金丸めぐみ 編曲

さあ 歩きだそう はるかな道 力いっぱい この瞬間を  
ひとりの力 小さくても 手をつなぎ 仲間を信じて

海にむかって とびたつ鳥 はるかかなたに 未来があると  
信じる勇気くれたのは ここにいる仲間  
ありがとうの気持ちをこめて 自由の空へ とびたて  
ここに大きな華を咲かせて すばらしい未来へ すすもう

海にむかって とびたつ鳥 新たな大地に 未来を創る  
豊かな知識くれたのは ここにある学びや  
ありがとうの気持ちをこめて みどりの地球みつめよう  
朝日をあびて 輝く笑顔  
ありがとう We are blessed with everything

ありがとうの気持ちをこめて みどりの地球みつめよう  
朝日をあびて 輝く笑顔  
ありがとう We are blessed with everything

## はじめに

平成23年度は学校法人朝日学園創立30周年、学校法人みつ朝日学園創立の記念すべき年となり新たに中等教育学校がスタートしました。中等教育学校には、中学・高等学校時代に築いてきたしっかりした基盤、また、小学校・幼稚園には今まで重ねてきた実績があります。しかし、これら現状に満足することなく、各校園では子どもたちにとって何が必要なのか何が重要なのか常に検討を重ね試行錯誤し、現在のbestではなく変化し続けるbetterな状態を作り上げていただいています。

われわれ連合PTAも常に子どもたちのために何ができるか、何をすべきかを軸に模索しながら3年目を迎えました。広報誌Trinityも3号目になり、アクティブに前進し続ける朝日学園、みつ朝日学園の姿を盛り込むように努めてまいりました。ご覧いただく皆様にこのような学園の動きをお伝えできる紙面になっていれば幸いです。

2012年4月

## 連合PTA ～幼・小・中等3つのPTAが連携を図って～

23年度 連合PTA活動テーマ

『幼・小・中等が相互理解を深める 一貫教育であることの特性が生かされる活動を行う』

(23年度の主な活動内容) 震災支援図書寄附(東日本大震災) 朝日塾中等教育学校見学会の開催  
朝日学園創立30周年・みつ朝日学園創立記念事業の後援 各校園主催講演会の後援 広報誌「Trinity」作成・配布

震災支援図書寄附(東日本大震災)



朝日塾中等教育学校見学会の開催



朝日学園創立30周年・みつ朝日学園創立記念事業の後援



# 座談会「これからの朝日学園」

(出席者)

- 鳥海 十児 (とりうみ みつじ) 学園長
- 安田 英祥 (やすだ ひでよし) 連合PTA会長、中等教育学校PTA会長
- 平 由起 (たいら ゆき) 小学校PTA会長
- 磯谷 麻記子 (いそたに まきこ) 幼稚園PTA会長

## 幼稚園・小学校・中等教育学校の1年後の未来について

**安田** 朝日学園創立30周年おめでとうございます。また、みつ朝日学園朝日塾中等教育学校創立おめでとうございます。朝日学園の1年後・5年後・10年後の未来についてお話を聞かせてください。

**鳥海** 去年4月に株式会社立の朝日塾中学高等学校が学校法人みつ朝日学園朝日塾中等教育学校になりました。私は幼稚園を創り、小学校を創り、株式会社の中学高等学校を創ってきました。そして、学校法人の中等教育学校へと名前を変えて新しくスタートしたわけですが、それまで私はずっと外を向いて走ってきました。30年間走り続けてきた中でも、去年は最も楽な年でした。学校法人化されたことで今までの大きな重荷がなくなったのです。私は今まで外ばかりを向いて走ってきましたが、中を見つめ直した時に正直、愕然としました。ガタがきていると思いました。

1年後にどうありたいかという事ですが、次なるステップに進むにあたり、学園の「個性を伸ばすハイレベルな教育」は不変のものと考えます。学力を伸ばすためにそれぞれ教職員、子どもも努力してきましたが、年を追うごとに子どもの人間性・道徳性を考えた時にレベルダウンしてきていると思います。それは学校の責任の部分が大きいと思います。しかし、家庭の教育力もだんだん変わってきたのかなあとと思う部分も否めないと思います。

これからの1年は子どもの人間性・道徳性を育てたい。学園全体で力を注ぎ、しつけ・マナーを重視していきます。

まずこの1年の目標は「挨拶」です。挨拶ができる将来の紳士、淑女を育てていきたいと思っています。

**安田** しつけの基本としての挨拶ですね。それは幼・小・中高のそれぞれのレベルでですか？

**鳥海** そうです。それぞれのレベルで挨拶ができるように指導していきたいと思っています。幼稚園児はこれまで指導してきた成果もあり、それなりにできていると思います。小学生は知っている顔には挨拶しますが、特に中、高学年になると挨拶ができていないように思います。それは学校や家庭の指導の問題と、年齢的な問題もあると思います。

今まで挨拶ができるように頑張って指導してきましたが、これから小学校は特に力を入れなければいけないと考えています。中高生は人を見ての判断で挨拶はできるが、誰に対しても挨拶ができるようにしていかなければいけないと思っています。やりたいことはたくさんありますが、向こう1年間の目標として掲げていきます。あと、この先ずっとですが、口先だけでなく面倒見のいい学校にしていきたいです。子どもたちにどうさせるではなく、教職員の中で十分浸透させて、一人一人に目をかけていくことによって実現していきます。

**平** それは生活面、学習面の両面においてですか？

**鳥海** そうです。生活面、学習面すべての面において面倒見のいい学校と言われるようにしていきます。

**平** 幼・小ではどのように取り組んでいかれますか？

**鳥海** 幼・小でも子どもたち一人一人に対して教職員が意識をすること、気にかける、心にかけることで、その子が今何を求めているのかを理解できるのだと思います。今までは面倒見のいい学校と言いつつも実際はできていなかった部分があるかもしれないです。

**安田** 今まで学校は「知育」に力を入れてきたと思います。知育に加えて「徳育」という考えでしょうか？今もこれからも学校での時間的制約の中で

平成24年1月17日 朝日塾小学校にて

知育も徳育も行うには、この学校の教員人数は他の学校に比べるとどうですか？

**鳥海** よその学校に比べると我が校は教員数が多く、教員一人当たりの子どもの数は少ないです。

**安田** 保護者のニーズはどちらにあるのでしょうか？

**鳥海** 知育の方にニーズはありますが、徳育も考える親御さんもおられます。学校の知育以外の部分が足りないと思っている保護者は年々増えてきています。

**安田** 学校生活のさまざまな制約の中で、知育とともに徳育も身につけさせるということは、保護者もある程度の覚悟をしなければならぬのではないのでしょうか？

徳育に力を入れることで偏差値の高い学校への合格率が下がってしまうのでは？



安田 英祥 連合PTA会長、中等教育学校PTA会長  
鳥海 十児 学園長

**鳥海** 朝日塾小学校では、今年度岡山白陵中学校・岡山中学校に過去最高の合格人数を出しました。両中学校ともに合格ラインは下がっています。今の社会情勢や子どもの数からいけば今後、合格ラインが下がることはあっても上がることはないと思います。よって、学力的には今までと同じレベルのことができて今まで積み上げてきたことが確保できれば、もしくは今まで以上のことができれば、時間に余裕が出てくるのです。余裕の出る分はしつけや挨拶等に意識して使っていこうと考えています。

**安田** 保護者としては、知育・徳育に加えて体育を授けられた生徒が理想だと思います。生徒の能力にはばらつきがあります。私達は、子ども達が望んだより偏差値の高い学校を卒業することの前に、成人した時に、良き社会人になって欲しいと考えます。先ほど学園長がおっしゃった紳士、淑女を育てていただきたいと思っています。それを両立させるために、先生方には今まで以上に、工夫をお願いすることになるでしょう。また今まで以上に、保護者にも学校と連携を取りながら、家でのしつけが必要となるように思います。

**鳥海** 保護者が何を望むか考える前に、ある程度のしつけやマナーは家庭でしないと教育者として思います。しかし昔と比べて家庭のしつけの質は下がっています。幼稚園では子どもが小さいのでトラブルは比較的単純で簡単に解決できることが多いのですが、小・中学校では心の問題も絡んできます。しかし、教員の指導の仕方・教育の仕方ですらトラブルをまったくのゼロにすることは難しいですが減らしたり、小さくしたりすることと考えています。喧嘩等はよくありますが、今の子どもは状況を判断するという事ができないので、それは学校が指導、教えていかなければいけないと思います。

**平** 鳥海先生が徳育にも力を入れて欲しいと考えている親が増えていると思われる瞬間はどんな時でしょうか？

**鳥海** 保護者や一般の方と話していると、幼・小・中等についてご批判やご指摘をされることが多くなっています。駅や公共機関、バス等での場面を

指摘される。今までは家庭で指導されていましたがそれができなくなってきているので、学校側もそのことを念頭に置きながら、TPOに応じた行動をとるべきであるという事などを指導しないとイケないと思っています。

挨拶は自分がするもの。自分が挨拶をして気持ちよくなればいいのですが。相手がするかどうか、返事があるかどうかは二の次だと思います。誰とでも挨拶ができ、誰とでも話ができる人間になってもらいたい、社会に出て誰とでもよりよい人間関係を築くことができる人になってもらいたい。そのような考えで挨拶を行うという事をしっかり教えていきたいと思っています。

学園としては基本のコンセプトを「確かな学力と人間性を育てるしつけ」という事で進めていきたいと思っています。小学校の進学実績や中等の進学実績がそれによって落ちることはないと考えています。当面は人間関係の第一歩として、挨拶ができることを目標として頑張っていく。このことは今年、年頭にかかげた学園全体で取り組んでいく目標であります。挨拶ができてこそ、しつけやマナーの段階に入れると思います。

**安田** 子どものマナーでご批判等を受けることが多いとのことですが、目立つのは朝日塾という学校がそれだけみんなに知られてきて朝日学園としての進学実績も徐々に高くなり、実績が出ているからではないかとも思います。公共の場では、特に自分たちの行動に責任をもった生徒の育成を望みます。もちろん、私達保護者も学校任せでない、しつけを心掛けたいと思います。

## 幼稚園・小学校・中等教育学校の5年後、10年後について

**安田** それでは5年後、10年後はどうですか？

**鳥海** 5年、10年後は安定しているだろうと思います。朝日、岡山白陵を追い越せるのは5年、6年後からだと思います。10年後は追い越せる、目指せると思います。

**平** それは中等のⅢ類Sクラスの子たちの大学進学時期と同じという事ででしょうか？



磯谷 麻記子 幼稚園PTA会長  
平 由起 小学校PTA会長

**鳥海** そうです。成果が上がれば、小学校からの中等への進学も増えると思います。朝日塾小学校の全部とは言いませんが半分でも残ってくればさらに実績は上がるでしょう。そのためにも、大学進学の実績を上げていく必要があります。

**安田** 岡山白陵などの他の進学校を追い越すのは知育の部分ですか？

**鳥海** もちろん知育の部分で肩を並べ、それに加えてしつけの部分で追いこす事が目標です。保護者も同じ大学進学の実績ならどちらがいいかと考えた場合、朝日塾の子はしつけもきちんとできているし、感じのいい子が多いから我が子も行かせたい、と言ってもらえるようにしていきたいです。

**安田** 他校との大きな違いは少人数であるという事で、少人数の良さは面倒見のいい事につながると思います。

**鳥海** そうです。少人数の良さを活かさなければならぬと思います。逆に大人数の学校と同じようにしてはいけません。

**安田** 違った見方をすると、保護者の中には少人数ではなく、400~500人の生徒のいる学校で切磋琢磨して勝ち抜いてほしいという親もいると思います。

**鳥海** そうですね。そういう方ももちろんおられます。でも粒のそろった50人~60人の中で切磋琢磨しながらなおかつ仲良く、社会に出て行ってからもお互いに連絡を取りながら協力しあっていけるそんな50人であって欲

しいと思います。社会に出て行った時に絶対に人間関係は大事ですよ。困ったときに助けてくれる友達がたくさんいた方が強いですよ。そういえばそんな人もいたかなあ、というのでは全然違うと思います。

**磯谷** 確かに私の学生時代を思い出しても深い関係を築くことができた友人は多くて50人ぐらいですね、ところで幼稚園、小学校はどうですか？

**鳥海** 一つ大きなネックは小学校と幼稚園が離れていることです。同じ学園にいれば知り合いの方やいろいろな場面を通して幼稚園の親御さんはある程度は小学校の事が見えるわけです。そういう中でいい面をもっと出していき、見てもらわないといけません。それは幼稚園と小学校、小学校と中等教育学校の間にもいえることです。高いお金を払って、遠くの小学校に通わせるというのは、親は相当の決意がいるはずですよ。朝日塾小学校を選んでもらえるだけの事を提供しなければいけないと思います。

**安田** 小学校でいえば、岡山には岡大附属・清心小がありますが、そちらの学校との差別化はどう考えますか？

**鳥海** 岡大附属はある程度自分でやれる子なら行かせたいと思います。残念ながら現在のところ徳育はうちよりも清心の方が勝っていると思います。宗教的情操教育の柱が先方にあるのに対して、朝日塾にはそういうものはありません。そういう宗教的な柱はなくてもよくしつけられていると言われるように早急に対処していかないとイケないと思います。しかし、徳育面ではものたりませんが、知育面では確実に勝っていると確信できます。これからは、朝日塾に行けば、人間性が育つといわれるように、実績を作っていかなければいけないと思います。

**安田** 増えている公立中高一貫の受験希望者について、どうお考えですか？

**鳥海** これから中高一貫校を受験される方が増えていくと思われませんが、それに対応していかないとイケないし、やらざるを得ないでしょう。

**平** 公立中高一貫校を目指している子どもこの学校にいて勉強していれば私立の受験対策はできているので知識の点では問題ないのですが、適性検査型の試験への対応はできておらず、とても難しい状況にあると思います。最近では適性検査型の受験問題を併用している私立も増えてきていますね。

**鳥海** 適性検査型の受験問題に対応した私立が増えているのは、公立中高一貫校を目指している子どもも受験しやすいようにと学校が配慮したためです。これからは適性検査型の方が中学入試の主流になっていくと思います。

**安田** 適性検査型で入学した子と、私立型を受験で入学した子に将来どのような差が出てくるのかはまだわかりませんよね。

**鳥海** そうですね。でもあまり変わらないのではないのでしょうか？中学に入ってからどれだけ頑張れるかの問題ですからね。

**安田** 中等教育学校の大学進学の結果が出てきていますが、状況はどうでしょう？

**鳥海** 昨年、一昨年とほぼ同じぐらいです。来年、再来年はグッと結果が出ると思います。職員数は増やせませんので、現状人数で教師の質を上げていかなければいけません。入れ替えや学園内の配置換えで質を上げていこうとしています。

**平** 知育だけでなく徳育にも取り組んでもらえるとのことであれしく思います。PTAは子どもたちのために何が出来るかを考えて活動していますが、来年度は親同士のかかわりや親への啓蒙に取り組み、自信を持って子どもを育てられるような親に親自身も育っていかけるように講演会や講習会など行っていきたいと思っています。親と学校とが足並みをそろえて子どもたちのために頑張っていけたらと思います。

**磯谷** 私も、徳育にも重視することに賛成です。幼稚園はすでに徳育に力を入れてくださって安心して子どもを預けられるところです。今の良さが保てるようにお願いしたいと思っています。

**鳥海** 皆様ありがとうございました。朝日学園としては、よりよく子どもたちが育ってくれるように一生懸命努力していきたいと思っています。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。